

地域におけるスポーツイベントの事例研究 (3)

— 古市杯バレーボール交歓会参加者の満足度から —

幸田三広*、平畑幸作*、藤岩秀樹**、折本浩一***、平松 携****

On the Case Study of the Sport Event in the Community (3)

— From Analyzing Satisfaction of the Furuichi Cup Junior Volleyball Meeting —

Mitsuhiro KOTA, Kosaku HIRAHATA, Hideki FUJIIWA,
Koichi ORIMOTO and Sugaru HIRAMATSU

Abstract

Our aim of this study is to propose the ideal way of independent community sport events by the analysis of the 1 to 5 scale of satisfaction according the events. The subject is leaders who participated in The Furuichi Cup Junior Volleyball Meeting, which is well organized and not dependent on the public administration. As a result of the investigation, it suggests that the team leaders who were involved in the event expressed highly satisfaction for the meeting. But some items of questionnaires indicate that the team leaders who take winning the game seriously tend to be lower on the satisfaction scales. Several points are discussed for the improvement of planning or management.

Key words: Sport Event, Volleyball Meeting, Satisfaction

1. はじめに

近年の社会環境、スポーツを取り巻く環境の変化の中で、スポーツ振興法第4条に基づく「スポーツ振興基本計画」が2000年9月に策定された。

スポーツ振興施策の展開方策の一つに「生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備充実方策」がある。これは「2010年(平成22年)までに、全国の各市区町村において少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成する」という到達目標のもと、総合型地域スポーツクラブの全国展開がなされており、各地でその試みが実施されている。

スポーツ界においても、様々な試みが展開されており、例えば、1993年にはサッカー界においてプロサッカーリーグである“Jリーグ”が発足し、フランチャイズ制のもと地域に根ざしたクラブ運営がなされ、“総合型地域スポーツクラブ”への足掛かりとなる組織化が始まった。

一つの成果として、日韓共同で開催された2002年サッカーワールドカップでの日韓両チームの活躍

は世界を驚かせ、開催両国での国民の盛り上がりは記憶に新しいところである。とりわけ地元開催地での熱狂振りは予想以上のものであった。

また、地域においては、少子高齢化等の対策として老若男女、指導者、選手を織り交ぜた各種スポーツイベントを開催し地域の活性化に努めている。筆者が前回報告した³⁾⁴⁾山口県大島郡で開催されている「サザン・セト大島少年サッカー大会」も地域活性化を目指した行政主導の地域スポーツイベントのひとつである。

本研究では、このような背景の中、広島市安佐南区古市地区で古くから地域の活動として親しまれていたスポーツイベントを復活させたバレーボール大会に着目し、行政に頼らないいわゆる地域主導の地域スポーツイベントの企画および運営の方策を見出すための基礎的研究として、参加チームの引率指導者を対象にアンケート調査を実施し、「大会の企画と運営についての満足度」から今後の地域スポーツイベントのあり方を提案するための基礎資料を得ることを目的とした。